

映画上映会及び講演会を通して東日本大震災や福島原発の風化の防止を図る

福島みらいプロジェクト岡山応援隊

活動の目的

岡山県は自然災害が少ないと言われている。原発もなく地震も少ない。東日本大震災は遠く離れたところの過去の出来事だ！岡山は関係ない！と思うのではなく、同じ日本で起きている出来事として考えるようにしたい。昨年、隣県の鳥取県を震源とする地震が起き、熊本県や大分県でも大きな地震が起きている。南海トラフ地震では岡山県内での被害も想定されており、映画上映会や監督さんの生の声を聴くことにより、震災や原発事故風化の防止を図り、さらには、防災や未来に向けた日本のあり方を考える機会にしたい。

活動の内容及び経過

7月23日(日)、映画『福島六ヶ所未来への伝言』上映会を総社市中央の「スタジオ・ザ・ブーン」で開催。2013年に公開された映画で島田恵監督の初作品。これまでも総社市、岡山市、和気町で上映した作品であるが、チャルカの上映前に改めて上映会を開催した。

9月17日(日)、映画『チャルカ～未来を紡ぐ糸車』上映会を岡山市建部町の「ののカフェ」で開催。2016年に公開された映画で島田恵監督の第2作品。台風18号の接近により警報が発令されたため、上映予定だった建部町公民館が利用できず、急きょ会場が「ののカフェ」に変更となった。この日の午前中、新幹線は通常通り運行していたので、島田恵監督は東京から岡山まで来ることができたが、在来線は朝から運休だったため監督や来場予定者を岡山駅まで車で迎えに行った。上映終了後には監督トーク、その後、同会場にて監督を交えて交流会を開催した。台風の影響もあり(この日の夜が最接近)、帰宅できない方が同会場に宿泊した。

9月18日(月・祝)、映画『チャルカ～未来を紡ぐ糸車』上映会を総社市中央の「スタジオ・ザ・ブーン」で開催。台風18号が過ぎ、在来線も通常運行となった。前日鑑賞できなかった方が来場した。前日同様上映後には監督トーク、その後監督は東京へ戻った。

活動の成果・効果

映画『福島六ヶ所未来への伝言』は、東日本大震災直後の福島、核燃サイクル事業の六ヶ所村などの様子を紹介した内容であり、映画『チャルカ～未来を紡ぐ糸車』は、放射性廃棄物である核のゴミ問題をテーマとした内容である。二つの映画を通して自分たちの知らない世界を知ることができた。震災や原発事故、今後の原発の在り方について考える貴重な機会となった。また、上映後の島田恵監督のト



ークや交流会も大変貴重な時間となった。台風18号最接近という悪条件の中、監督さんをはじめお越しいただいたすべてのみなさんに感謝申し上げたい。

今後の課題と問題点

福島みらいプロジェクト岡山応援隊では、今回上映した2つの作品の映画上映権を保有している。一人でも多くの方々にご覧いただくために、定期的に岡山県内各地で上映会を開催することができればと考える。(上映をご希望の方はいつでもご連絡を！) そのために各種メディアなどに紹介し広く広報活動を進め、映画上映会を通して日本や世界の未来の在り方を考える機会としたい。また、次回第3作に向けての準備も進めているようなので、島田恵監督の活動もあわせて紹介できればと考える。

- 代表者：細谷祐介 ●所在地：総社市中央
- TEL：080-5238-3436
- E-MAIL：yhosso19731220@yahoo.co.jp
- 設立年：2011年 ●メンバー数：15名